

令和3年9月7日 開会

令和3年 第3回 東松島市議会定例会

議員一般質問通告書

東松島市議会

《 議員一般質問 目次 》

順位	氏名	件名	頁
第1位	齋藤 徹	1 市内スポーツ施設の整備に万全の体制を	3
		2 市内各中学校の制服について	4
第2位	石森 晃寿	1 旧鳴瀬町地域の過疎地域指定について	5
		2 コロナ禍での市民の医療の確保について	6
第3位	千葉 修一	1 新型コロナウイルス感染拡大における今後の対策を問う	7
		2 市道及び通学路の安全確保を問う	8
第4位	五野井 敏夫	1 市道関の内・東54号線及び赤井堀西4号線を拡幅整備せよ	9
		2 中江川の堤防の嵩上げをせよ	10
		3 健康増進センターゆふとの施設・器具整備は万全か	11
第5位	熊谷 昌崇	1 のびる幼稚園付近の歩道整備を問う	12
		2 コロナ禍による自宅待機の対応を問う	13
第6位	土井 光正	1 コロナ禍における諸課題を問う	14
		2 通学路の安全対策を問う	15
		3 少子高齢化社会の中で地域等の課題について問う	16
第7位	櫻井 政文	1 健康寿命延伸の施策を問う	17
		2 デジタル・ディバイド（情報格差）解消について	18
		3 子供の危険なボール遊びに対する指導について	19

第8位	井出 方明	1	災害公営住宅の実情と今後の運営について問う	20
		2	新型コロナウイルス感染症対策と今後の経済活動の動向について問う	21
第9位	阿部 秀太	1	学校給食における食育の推進について	22
		2	有害鳥獣対策の強化について	23
第10位	手代木 せつ子	1	人口減少問題を問う	24
		2	牛網地区への取組を問う	25
第11位	長谷川 博	1	柳の目地内の市道改良などについて	26
		2	原子力災害時における広域避難計画の実効性について	27
第12位	大橋 博之	1	健康ポイント制度の充実を図れ	28
		2	超高齢化社会に対向する新しい取組を考えるべき	29
第13位	浅野 直美	1	義務教育における保護者の経済的負担軽減について	30
		2	小中学校2学期制の正式移行について	31
		3	子育て環境の充実について	32
第14位	小野 恵章	1	J R 矢本駅南北連絡通路等に関する諸課題を問う	33
		2	本市における全国学力学習調査の意義を問う	34

【質問者数 14人・質問件数 32件】

氏名	件名	要旨
<p>第1位</p> <p>齋藤徹</p>	<p>1. 市内スポーツ施設の整備に万全の体制を</p>	<p>コロナ禍の中で開催された東京2020オリンピックも閉会を迎え、今後本市のスポーツが盛んになることが予想される。スポーツ健康都市を掲げる本市においては、市内スポーツ施設の整備に万全を期さなければならないものと思料する。</p> <p>以上を踏まえ、本市のスポーツ施設整備について問う。</p> <p>(1) 令和2年第4回定例会でのスケートボード場に関する一般質問が熱海重徳議員から出されたが、設置場所、規模等を検討した結果は。</p> <p>(2) 鷹来の森運動公園内の球場は、各地区のソフトボール大会や市長杯、大規模大会等にも利用され、市民のスポーツ参加への意欲醸成と市外利用者への大会会場としてのPRに大いに寄与している。しかしながら、ナイター設備の照射角度の不備やフェンス等の老朽化が目立つ。その都度、整備補修している状況だと思われるが、今後の整備の在り方を問う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第1位</p> <p>齋藤徹</p>	<p>2. 市内各中学校の制服について</p>	<p>市内中学校の制服について、保護者負担の在り方や社会情勢を踏まえた上で見解を伺う。</p> <p>(1) 令和3年第1回定例会の熱海重徳議員の一般質問の中で、市内各中学校の制服の購入額について詳細に述べられていた。義務教育かつ市立中学校であることから、制服の購入負担額の上限は設けるべきと考える。公平性の観点から制服購入に対して、保護者の一定負担と超過分の支援の仕組みづくりが必要と思われるがその見解は。</p> <p>(2) 多様性が認められる社会情勢の中でLGBT(Q)に対する認知度は高くなっており、制服メーカーの中には、ジェンダーレス制服を開発しているところもある。本市においても社会情勢を踏まえた上で、ジェンダーレス制服の採用へ向けた取組が必要と思われるが見解を伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第2位</p> <p>石森 晃寿</p>	<p>1. 旧鳴瀬町地域の過疎地域指定について</p>	<p>本市の旧鳴瀬町地域は、昭和50年度から平成27年度までの人口減少率が34%に達し、国の基準を満たしたことから、令和3年4月1日に過疎地域に指定された。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 旧鳴瀬町地域の過疎地域指定をどのように受け止めているか。</p> <p>(2) 新過疎法に基づく財政上の特別措置を受けるための過疎地域持続的発展計画をいつまで作成するのか。また、過疎地域持続的発展計画の内容は、どのようなものか。</p> <p>(3) 過疎地域指定自治体は、本市を含め全国で820あり、国の財政支援額には総枠がある。本市は、これまで過疎地域に指定された経験がないことから、過疎地域指定自治体間の競争に勝ち抜くためには、過疎対策に特化した課の設置が望ましいが、どのように考えているか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第2位</p> <p>石森 晃寿</p>	<p>2. コロナ禍での市民の医療の確保について</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大が止まらない。日本全体で毎日2万人以上、新型コロナウイルスに感染し、重症者も増加している。本市でも新型コロナウイルス感染者は、増加傾向にある。本市のワクチン接種は、桃生郡医師会の協力のもと、他自治体より進んでいると思うが、コロナ禍での市民の命を守る医療の確保は、容易ではない。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症が拡大することにより、発熱外来を兼ねる2次医療機関は、PCR検査、ワクチン接種、新患の診察、入院患者の対応などに追われている。患者の命を守らなければならないという使命感で頑張っているように見える。医療機関に対する市独自の支援策を考えているか。</p> <p>(2) 最近、千葉県柏市で、妊婦が新型コロナウイルスに感染し自宅療養中に病状が急変し、入院先が見つからず、自宅で出産し、赤ちゃんが亡くなる事例があった。同じようなことは、全国どこでも起こりうる可能性がある。どのように考えているか。</p> <p>(3) 本市には、東北大学病院小児科の専門医が隔日で勤務している2次医療機関が1医療機関ある。2002年4月から現在まで、小児医療を守るという使命感で開設しているが、コロナ禍で病院の経営内容が悪化している。小児科を閉鎖せざるを得ない状況にある。一旦閉鎖したら、東北大学病院小児科から小児専門医を派遣していただくことが、困難になる。コロナ禍での小児医療を守るためには、市で支援して、開設を継続すべきと私は考えるが、どのように考えているか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第3位</p> <p>千葉 修一</p>	<p>1. 新型コロナウイルス感染拡大における今後の対策を問う</p>	<p>緊急事態宣言が発令され、今後の更なる感染予防対策や協力事業者への支援が必要と思われることから、次の点について伺う。</p> <p>(1) まん延防止等重点措置の中、小中学校の新学期が始まった。もし感染者が出てしまいクラスターが発生した場合の対処をどのように考えているのか。また、完治した後の心のケア対策はどのように計画しているのか。</p> <p>(2) 新型インフルエンザ等対策特別措置法第24条第9項に基づく営業時間の短縮要請に対し、対象事業者の協力は徹底されているか。また、随時、協力状況を調査しているか。</p> <p>(3) 感染予防対策に要した経費を飲食店以外に助成する考えはあるか。</p> <p>(4) 本市のワクチン接種の目標及び終了見込みについて</p> <p style="text-align: center;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第3位</p> <p>千葉 修一</p>	<p>2. 市道及び通 学路の安全確保 を問う</p>	<p>市長はマニフェストにおいて「子育てしやすく誰もが健康で安心して暮らせるまち」を掲げている。千葉県八街市では児童が見通しの良い道路で交通事故にあった。本市の市道及び通学路の安全性の確認は常に必要と思われることから、以下の所見を伺う。</p> <p>(1) 交差点や車道と歩道を区別するための白線の状況をどのように確認しているのか。例えば、通学路でも白線が消えている状態が数年続いているところもある。今後の対応策はどう考えているか。</p> <p>(2) 千葉県八街市のように見通しの良い道路でも交通事故が起こる可能性がある。通学路の安全確認と地域から要望が出ている道路の再整備は必要と思われる。また、交通量が以前より増え、危険性が増したところもある。例えば、赤井南小学校の通学路は、交通量が増加したことから新たな交通安全対策が必要と思われるが改善策をどのように考えているか。</p> <p>(3) 障がい者が車いすでも安全安心に通れる市道の整備が必要と考えるが、いかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第4位</p> <p>五野井敏夫</p>	<p>1. 市道関の内・東54号線及び赤井堀西4号線を拡幅整備せよ</p>	<p>赤井堀高田橋から県道石巻鹿島台色麻線の干拓橋までの約670m区間は、幅員が3.5mであり、一部待避所が5.5mあるものの、ガードレール、側溝及び歩道がない狭隘な市道である。さらに、干拓橋から南に延伸し同様の状況が300m程続く。一步間違えれば落水し、生命の危機すら考えられる危険な道路である。安全・安心が担保されるのが市道であるべきと思慮する。早急に拡幅整備すべきである。市長はいかに考えるか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第4位</p> <p>五野井敏夫</p>	<p>2. 中江川の堤防の嵩上げをせよ</p>	<p>中江川は、東日本大震災で津波被害を受けた定川水系の河川である。定川は、河口より宮城県の施工による嵩上げが終わり、以前より頑丈な堤防になった。一方、中江川は、以前のままであり、大雨、津波等の場合は越水の危険性が増した。特に、小松地区及び赤井上区地区の住民の方々は大きな不安を抱えている。速やかな対応が求められる。市長の考えはいかに。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第4位</p> <p>五野井敏夫</p>	<p>3. 健康増進センターゆぶとの施設・器具整備は万全か</p>	<p>ゆぶとは、コロナ禍においても感染防止対策に万全を尽くして営業している。子供たちを対象とした水泳教室、スタジオでのキッズダンス教室、ヨガ教室等、そして大人を中心としたプールやジムでのトレーニング、サウナ、風呂での沐浴と、バランスのとれた健康増進維持施設であり、有料での事業展開がなされている。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 雨漏り対策はいつ行うのか。</p> <p>(2) 老朽化した器具の整備及び更新はどうするのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第5位</p> <p>熊谷 昌崇</p>	<p>1. のびる幼稚園付近の歩道整備を問う</p>	<p>西新町にあるのびる幼稚園と幼稚園の駐車場に隣接する市道西新町54号線には、その区間だけ歩道がない。その市道は幅員が狭く、自動車がすれ違う時は、危険を感じる事が多い。毎日、児童の父兄等が駐車場から幼稚園へ手をつないで送迎している。しかしながら、相手は小さな子供であるため、少し走り回る子供も見受けられる。</p> <p>そこで、安全の確保のために、歩道の整備を検討すべきと思うがいかん。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

	件 名	要 旨
<p>第5位</p> <p>熊谷 昌崇</p>	<p>2. コロナ禍による自宅待機の対応を問う</p>	<p>国内における新型コロナウイルスの感染者が爆発的に増加しており、本市においても感染が拡大している。首都圏においては入院できず自宅待機を余儀なくされている人々が多数いる。</p> <p>そこで、以下の件について問う。</p> <p>(1) 本市において、現在、自宅待機の療養者は存在するのか。</p> <p>(2) 自宅待機になった場合に備え、自身で用意すべきものの周知の徹底を図るべきではないか。</p> <p>(3) 自宅療養となった場合の行政の対応は。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第6位</p> <p>土井 光正</p>	<p>1. コロナ禍における諸課題を問う</p>	<p>最近、感染力の強い変異ウイルス「デルタ株」への置き換わりが感染拡大とつながり、県内に緊急事態宣言が発令され、市民活動や飲食店等の経済活動が制限され、市民は不安な毎日を送っている。</p> <p>そこで、次の課題について問う。</p> <p>(1) ワクチン接種は感染拡大防止の決め手の一つだが、若い方の接種率が低いと報道されている。対策をどのように考えているのか。</p> <p>(2) 令和3年第2回定例会で市長は、接種希望者に9月まで集団接種を、10月までには個別接種を完了したいと答弁しているが、国からのワクチン供給が危ぶまれている。当初予定どおり接種完了できる見込みはあるのか。</p> <p>(3) 変異株によるワクチンの効果が取り沙汰されているが、2回接種を完了した方々のマスク着用がなされない状態が散見される。2回接種でも感染している実態や、接種者が感染しても症状がない場合に他の未接種者に感染させてしまう事例があるため、市民にわかりやすく注意喚起を市報等で周知すべきと考えるがどうか。</p> <p>(4) 新型コロナウイルス感染症経済対策事業として、割増商品券を発行し盛況のうちに完売した。市報等で大きくPRしている割には、早期の完売で手に入らない市民からの苦情を多々聞いている。このことについて、どのように考えているのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

	件 名	要 旨
第6位 土井 光正	2. 通学路の安全対策を問う	<p>今年8月に千葉県八街市で歩道が整備されていない通学路にトラックが児童の列に突っ込む痛ましい事故が発生した。交通事故から通学時における子供の安全を守ることはもちろんのこと、市民の安全を守るためにも次の点について問う。</p> <p>(1) 事故発生後、文部科学省より通学路の一斉点検の指示があったが、点検の結果、喫緊に対処すべき箇所を今後どのように対応していくのか。</p> <p>(2) 市内では狭隘になっている踏切が7カ所ある。これまでも定例会の一般質問で取り上げているが一向に進捗が見られない。ほとんどが通学路であり、車と人が狭い場所を通行する危険な状態である。早期に拡幅改良を行うためのJ Rとの協議の進捗は。</p> <p>(3) 国道45号矢本歩道橋撤去について、現在どのような進捗であるか。また、撤去後の歩行者の安全確保のための整備計画をどのように考えているのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

	件 名	要 旨
<p>第6位</p> <p>土井 光正</p>	<p>3. 少子高齢化社会の中で地域等の課題について伺う</p>	<p>(1) 歩行困難な高齢者が家庭ゴミを集積所まで持参することが困難になってきている実態が散見される。ホームヘルパーや別居の家族がサポートしているが、ゴミ収集日、時間帯の整合ができないため不便を生じている。これを解消するために行政として市民センター毎に収集日に左右されない集積所を設置する考えはないか。</p> <p>(2) 近年、自宅を含めた病院以外での死亡割合が増加傾向にあると言われている。本市でも例外ではなく、特に高齢者のひとり暮らしや高齢者のみの世帯等の孤独死も増加している。これまでもコミュニティや民生委員等によって高齢者の見守り活動を行っているが、更なる体制強化が必要と考えるかいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第7位</p> <p>櫻井 政文</p>	<p>1. 健康寿命延伸の施策を問う</p>	<p>超高齢化社会が到来する中、先を見据えた健康寿命の更なる延伸や生活の質の向上などの課題解決が急務とされている。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 現在の健康寿命延伸の取組と今後の展開について</p> <p>(2) コロナ禍における高齢者の現状をどのように把握しているか。また、今後の取組は。</p> <p>(3) 地域や地域包括支援センターとの連携について</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

	件 名	要 旨
<p>第7位</p> <p>櫻井 政文</p>	<p>2. デジタル・ディバイド（情報格差）解消について</p>	<p>デジタル化が進む中でインターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる人と利用できない人との間に格差が生じ、社会問題になっている。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 市民の情報リテラシー向上策は。</p> <p>(2) 高齢者のIT利活用支援について</p> <p>(3) フリーWi-Fiの公共施設での設置の状況は。</p> <p>(4) 教育現場におけるデジタル・ディバイドの現状については。また、学校のオンライン化が進んだ一方、インターネットの通信環境が整っていない家庭もある。その現状把握と解決策は。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

	件 名	要 旨
<p>第7位</p> <p>櫻井 政文</p>	<p>3. 子供の危険なボール遊びに対する指導について</p>	<p>先般、国道45号を石巻方向に走行していた車両に、北浦歩道橋付近で子供が遊んでいたサッカーボールが当たる事案があった。サッカーボールを避けようとして対向車や電柱に衝突するなどの物損事故につながりかねない。</p> <p>ボール遊びについては、場所を考慮して行うよう学校や家庭に対して周知を徹底する必要があると思われるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第8位</p> <p>井出方明</p>	<p>1. 災害公営住宅の実情と今後の運営について問う</p>	<p>居住者からは、生活が安定したら家賃が非常に高くなった等の声が聞こえる。家賃を含めた現状の問題及び今後の適切な運営について問う。</p> <p>(1) 入居者の収入と家賃の関係について、実情と今後の運営についてどのように考えているか。</p> <p>(2) 入居資格及び現在の入居者の実情はどのようになっているか。</p> <p>(3) 入居者間のトラブル等の問題はないか。</p> <p>(4) 収支及び整備計画を踏まえた上で、今後の適正な運営の在り方をどのように考えているか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第8位</p> <p>井出方明</p>	<p>2. 新型コロナウイルス感染症対策と今後の経済活動の動向について問う</p>	<p>現在、宮城県が新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置から緊急事態宣言の対象地域となり、市内の飲食店に時短要請に引き続き休業要請が行われている状況である。今後の経済活動の活性化と新型コロナウイルス感染症対策との調和について考えを問う。</p> <p>(1) 現在のワクチン接種状況と今後の予定はどのようになっているのか。</p> <p>(2) ワクチン接種は有効だと思われるが、感染者のうちワクチン接種者の占める割合は。</p> <p>(3) 現在の状況下で、11月開催の産業祭は予定どおり行うのか。</p> <p>(4) 今後ワクチン接種が進んだ場合における経済活動の活性化をどのように考えているか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第9位</p> <p>阿部 秀太</p>	<p>1. 学校給食における食育の推進について</p>	<p>(1) 児童、生徒が感動しながら食べるシーンを増やすために、児童、生徒が手掛けることや見学などの経験を通じ、かつ地域と関わりを持つことが大切と思慮する。そのような取組を行うべきと考えるがいかがか。</p> <p>(2) 地場産の取扱を大きく向上させるために、新たに学校給食向けの作目振興を提案するがいかがか。</p> <p>(3) 以上の2点を進めるために、学校、生産者、納入業者、給食事業者、行政、地域コミュニティなどの調整を図りながら進めていく「コーディネーター」の設置について何う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第9位</p> <p>阿部秀太</p>	<p>2. 有害鳥獣対策の強化について</p>	<p>(1) 東松島市鳥獣被害防止計画に掲げられている課題等の対応状況について伺う。</p> <p>①駆除隊員数維持のための支援策はどのように講じたか。</p> <p>②ハクビシン対策について、市民による捕獲率の向上はなされたか。また、捕獲したハクビシンの処理を捕獲者に委ねるとあるが、処理費用の負担等は改善されているか。</p> <p>③ハクビシン捕獲の成功例の情報収集や生態に関する情報提供はどのようになされたか。</p> <p>④ハクビシン捕獲員養成のための技術講習会の開催状況はいかに。</p> <p>⑤ハクビシン被害防止に関する普及啓発はどのようになされたか。</p> <p>(2) 令和4年度以降の東松島市鳥獣被害防止計画について</p> <p>①より適確な被害状況の把握が必要と考えるがいかがか。</p> <p>②対象鳥獣にシカ、イノシシ及びタヌキを加える意向はないか。</p> <p>③人材確保対策として、鳥獣被害対策実施隊の設置を提案するがいかがか。</p> <p>④被害防止施策の実施体制に関する事項のうち、協議会に関する事項について、「東松島市農作物病害虫防除協議会」に代わる組織が必要と思慮されるがいかがか。</p> <p>⑤国の鳥獣被害防止特措法に基づく予算措置を講じ、地域ぐるみの被害防止の取組を提案するがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第10位</p> <p>手代木 せつ子</p>	<p>1. 人口減少問題を問う</p>	<p>本市は、SDGs 未来都市選定以来、SDGs の理念に沿って住み続けられるまちづくりを進めている。いかにして人口減少を食い止め、人口増加と定住促進をめざしていくかが、これからの最も大きな課題であると思慮する。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 子育て支援等でも、他の自治体には無い施策を実施しているにも関わらず人口が減少している現況の要因について、どのように分析しているか。</p> <p>(2) 本市の認知度と交流人口を拡大するために、本市が持つ資源を「見える化」「魅せる化」し、若い家族世帯のニーズに応える施策を展開することが「子育て世代の共働き夫婦から選ばれるまち」に結びつくと考えられるがいかかがか。</p> <p>(3) 女性が働きたいまち、起業しやすいまち、若い世代が本市に住み、子供を産み育てたいと思えるまちづくりが必要だと思いがいかかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

	件 名	要 旨
<p>第10位</p> <p>手 代 木 せ っ 子</p>	<p>2. 牛網地区への取組を問う</p>	<p>今年もまた各地で1時間に100ミリを超えるようなゲリラ豪雨による河川の増水、氾濫、土砂崩れにより周辺住民が巻き込まれて死亡するという痛ましい自然災害が起きている。また、7月28日太平洋側である宮城県に上陸し日本海側へ抜けた台風第8号による本市への被害は無かったが、気象庁の統計史上初というものであった。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 令和2年第3回定例会一般質問の際、牛網堤の水位について鳴瀬土地改良区と話し合うとの答弁であったが、行ったのか。また、その内容について伺う。</p> <p>(2) 7月28日の台風第8号襲来の際、牛網堤の水位の調整はなされたのか。</p> <p>(3) 牛網堤のハザードマップについて避難所が変更になっていたが、地区住民への周知として牛網地区内の各集会所へ提示するだけでよいのか。</p> <p>(4) 駅前東地区内にある調整池と用水路のある場所のスペアキーについて、その後どのように対処されたのか。</p> <p>(5) 牛網堤では魚釣り禁止という看板はあるものの、釣りを行っている方々が多くみられる。市は管理者として、ルールを守らない方々への啓発をどのように検討されているのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第11位</p> <p>長谷川博</p>	<p>1. 柳の目地内の市道改良などについて</p>	<p>この件は住民要望を受けて、平成30年第2回定例会一般質問でも取り上げた。</p> <p>(1) 東赤井104号線の改良工事完了に合わせて、市営住宅近くに横断歩道を設置するとしていた。市道整備等の進捗状況はどのようになっているか伺う。</p> <p>(2) 当該路線整備の完了に伴い、第2柳の目踏切の拡張工事が必要不可欠になると考える。歩行者の安全を守る上で差し迫った重要な問題ととらえ、早急に具体化すべきと考えるがどうか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

	件 名	要 旨
<p>第11位</p> <p>長 谷 川 博</p>	<p>2. 原子力災害 時における広域 避難計画の実効 性について</p>	<p>昨年11月、村井宮城県知事は女川原発再稼働の「地元同意」を決めた。同年第4回定例会の一般質問で「世論や民意と乖離があるのでは」と質し、その際、広域避難計画の到達度を尋ねると「担当としては（と断って）約5割程度と考える」との答弁であった。</p> <p>そこで、計画されている「広域避難計画」の実効性について改めて問う。</p> <p>(1) 原子力災害の避難時には、交通渋滞の発生が予測される。計画に従い市民が30キロメートル圏を脱出して3市2町80カ所余りの避難所にたどり着くまでの時間をどのようにとらえているか。市民が安全に避難できる十分な対応となっているか。</p> <p>(2) 事故発生時、本市で必要とする250台のバスの確保・手配はどのように担保されているのか。</p> <p>(3) 病院、高齢者施設、障害者施設の入院患者や、入居者の避難対応はどのようにになっているのか。</p> <p>(4) 屋内退避による被ばくリスクをどのようにとらえるのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第12位</p> <p>大橋博之</p>	<p>1. 健康ポイント制度の充実を図れ</p>	<p>平成30年第2回定例会において、健康ポイント制度導入への進捗状況を一般質問したが、その後進展していないように思われる。今後、超高齢化社会を迎えるにあたり、健康寿命の延伸は重要な課題である。取組の強化を図るべきと考える。</p> <p>そこで、以下の点について所見を伺う。</p> <p>(1) 生涯スポーツ・生涯学習との連携</p> <p>(2) 食育・食材との連携</p> <p>(3) 新しいポイント付与システムの開発</p> <p>(4) プロデュースするチームを設置すべき</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

	件 名	要 旨
<p>第12位</p> <p>大橋博之</p>	<p>2. 超高齢化社会に対向する新しい取組を考えるべき</p>	<p>8割の人々が病院で亡くなる日本において在宅での看取りが半数という驚くべき地域が滋賀県東近江市にある。人口5千人の永源寺地域である。今後、本市がめざすべき将来の地域医療・介護のモデルになるのではと思う。</p> <p>そこで、以下の点について所見を伺う。</p> <p>(1) 医療機関等の専門職だけではなく、「チーム永源寺」のような、行政、商工会、警察、消防署、寺院、自治会、民生委員等のチームとしての連携が必要と考える。このような組織を設置すべきと考えるがいかがか。</p> <p>(2) 20年後の高齢化率は35%を超えると言われる。その対策について、速やかに検討をスタートしてはどうか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要 旨
<p>第13位</p> <p>浅野直美</p>	<p>1. 義務教育における保護者の経済的負担軽減について</p>	<p>東松島市第2次総合計画後期基本計画に子育て環境の充実が掲げられ、教育委員会においては、誰一人取り残さない教育が推進されている。義務教育における保護者の経済的負担を軽減し、経済格差が教育格差に影響しないよう支援が必要であることから、以下について伺う。</p> <p>(1) 中学校入学時にかかる保護者の費用負担は、制服、体操着、通学カバン、上靴、教材費等を合わせて、各校及び男女の差はあるが、家計から一度に支出する額が大きい。一定額の助成をすべきであると考えるがいかがか。</p> <p>(2) 中学校の制服、体操着、上靴について、市外の取扱店でしか購入できない学校がある。教育委員会と市商工会で協議し、地域振興策に寄与すべきと考えるがいかがか。</p> <p>(3) 義務教育の入口である小学校入学時には、特にランドセルの購入費用が大きく、商品の仕様にもよるが、1万円～10万円と高価なものもある。ランドセル支給又は購入費を助成し、保護者の負担軽減を図るべきと考えるがいかがか。</p> <p>(4) 経済格差による教育格差は、学校外教育で生じることが多く、本市においても生徒の学習塾利用の有無による格差が懸念される。学習塾を利用していない生徒への教育支援が必要と考えるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

	件 名	要 旨
<p>第13位</p> <p>浅野直美</p>	<p>2. 小中学校2学期制の正式移行について</p>	<p>県内では、県立中学校や仙台市等が2学期制を取り入れている。2学期制に移行することにより、授業時間の確保や教職員の働き方改革、教育現場の業務改善を含め、学力向上等の効果が期待できることから、本市においても検討すべきと考えられる。</p> <p>本市の一部の小中学校では、成績評価において2学期制を取り入れており、段階的に2学期制への移行を考慮していると推察している。現場の教職員や保護者の理解を得た上で、教育委員会で統一し1本化すべきと考える。他市の動向も踏まえ、本市においての2学期制正式移行への可能性について伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

	件 名	要 旨
<p>第13位</p> <p>浅野直美</p>	<p>3. 子育て環境の充実について</p>	<p>子育てしやすいまちづくりを推進することが、少子高齢化対策や移住・定住の促進に繋がると考えられる。</p> <p>2歳児以下の一時保育料を千～2千円程度に定める市町村が多い中、本市では約2倍の4千円に設定されている。</p> <p>子育て世代に優しい本市であるために、2歳児以下の一時保育料の改定を検討すべきと考えるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第14位</p> <p>小野 恵章</p>	<p>1. JR矢本駅南北連絡通路等に関する諸課題を問う</p>	<p>矢本駅南北連絡通路については、具体的な整備計画がまだ示されていない。矢本駅及び周辺施設の整備についての方向性、課題解決策を問う。</p> <p>(1) 矢本駅南北連絡通路の調査事業の状況と、矢本駅改修も含めてたJR東日本との協議の進捗について</p> <p>(2) 老朽化した市営北浦アパートの用途廃止に向けた準備は、いつ頃になるのか。また、その跡地利用の計画を策定すべきと考えるが、所見を問う。</p> <p>(3) 大町商店街も空き店舗が増えている。空き店舗解消の施策や駅前商店街も含めた今後の駅周辺のまちづくりをどのように考えるのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第14位</p> <p>小野 惠章</p>	<p>2. 本市における全国学力学習調査の意義を問う</p>	<p>児童、生徒の学力向上は、市長の重要施策のひとつである。本年度2年ぶりに全国学力学習調査が行われ、本市の現状の結果が標された。国の調査目的を鑑みれば、本市における施策の妥当性に疑問を感じる。</p> <p>(1) 教育長の教育施策に対する市長の評価は。</p> <p>(2) 教育施策の成果と課題の検証、改善をどのように行っているのか。</p> <p>(3) 調査結果を踏まえた各学校長への指導は、どのようになされているのか。</p> <p>(4) 経済的理由により学習塾へ通えない児童、生徒への学習支援策が必要と思慮するが、教育長独自の教育施策は。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>